◆2023年7月の新刊　日本キリスト教団出版局

ナウエン・セレクション
《第5回配本》

老い　人生の完成へ

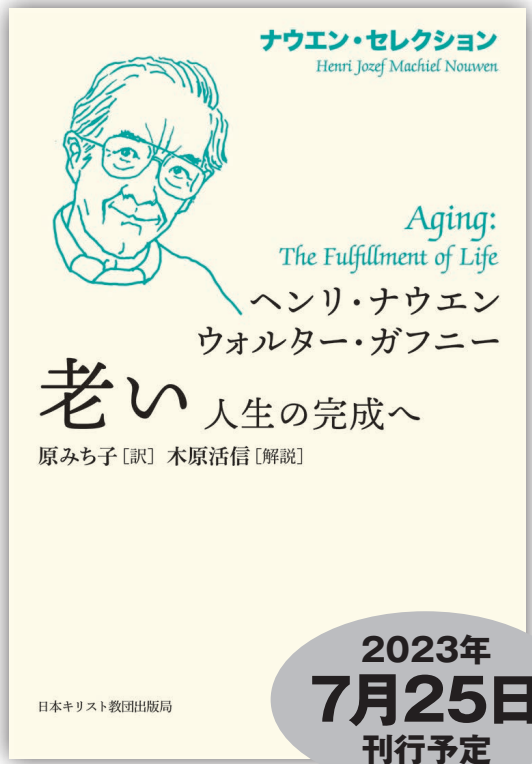
ヘンリ・ナウエン／ウォルター・ガフニー 著

1932～1996年。オランダ生まれ。カトリック司祭。イェール大学、ハーバード大学などで教鞭をとり、1986年以降、カナダ・トロントにある障害のある者、ない者が共に生きるデイブレイク・ラルシュ共同体でチャプレンを務める。

1939～2020年。ナウエンのイェール大学での教え子であり、カトリック司祭からソーシャルワーカーに転じた。

原みち子（はらみちこ） 訳　1941～2013年。東京大学教養学部教養学科フランス科卒。ブラジル、メキシコ、オーストラリアに在住の経験をもつ。児童文学書、キリスト教関係書を中心に翻訳に従事。

木原活信（きはらかつのぶ） 解説　同志社大学社会学部教授。博士（社会福祉学）。東京都立大学助教授、トロント大学大学院客員研究員を経て現職。日本社会福祉学会前会長。日本キリスト教社会福祉学会会長。



2023年
7月25日
刊行予定

20世紀を代表する霊的指導者ナウエンが、「老い」を語る注目作。福音の光に照らすとき、老いは、隠したり否定したりすべきことではなく、人生の完成に向かう成長の道のりであることがわかる。高齢者を世話（ケア）することの深い意味をも明らかにする。

四六判・並製・144頁・定価1,980円（本体1,800円＋税）

ISBN978-4-8184-1138-8　C0016

シリーズ好評発売中

『今日のパン、明日の糧　暮らしにいのちを吹きこむ366のことば』定価2,640円　『アダム　神の愛する子』定価2,200円
『死を友として生きる　「最大の贈り物」＆「鏡の向こう」』定価2,420円　『傷ついた癒やし人 新版』定価1,980円